

2017年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気電子工学科・情報学科						
科目名	情報科教育法 I						
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	前期		
必修・選択の別	教職必修						
担当者	四海 飛鳥						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校における教科「情報」について理解する。 ・授業指導案の作成ができる。 ・授業の基本的展開及び指導が実践できる。 						
日程と内容	第1回 オリエンテーション 第2回 教科「情報」の理念と設立の経緯 第3回 情報科教育の現状 第4回 求められる情報教育とは 第5回 情報モラル教育の重要性 第6回 教材研究方法 第7回 ICT機器の活用及び指導法 第8回 授業構成・コンテンツの作成(1) 第9回 授業構成・コンテンツの作成(2) 第10回 学習指導案・年間指導計画の書き方 第11回 授業実践演習(1) 第12回 授業実践演習(2) 第13回 授業実践演習(3) 第14回 授業実践演習(4) 第15回 総合演習及びまとめ 第16回 定期試験						
成績評価基準	定期試験	40%	実技	40%			
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	20%	プレゼンテーション				
	課題 演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	基本的にシラバスの予定通りに講義を実施することができた。その結果、高等学校における教科「情報」について理解し、授業指導案の作成についての体験し、授業の基本的展開及び指導が実践できる力を身に付けさせることが概ね出来たと考える。よって、概ね目標も達成できたといえる。						
反省点	指導案の作成実習が不足であると考え。時間配分の見直しを行い、指導案の作成を複数種類出来るように改善したい。またアンケートに関し、「クラスの勉強の雰囲気を保つように努めていましたか。」と「あなたは授業中に集中し、私語や授業に関係のないことをしないように心がけましたか。」の設問が若干平均値を下回った為、講義の方法を改善したい。						
来年度の計画	講義の教材として、実際の高等学校の教科書の導入を検討し、より実践的な教育を出来るようにしていきたい。その他の講義の構成や時間配分等、本年度の分析を行い、改善したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	結果を真摯に受け止め、継続すべき点・改善すべき点を、明確に検討し、次年度に反映させていきたい。全体的評価の平均値が9.4となったことは、受講生に感謝したい。しかし、この結果に満足することなく、更なる改善に取り組んでいきたい。						
履修登録者数	9名	定期試験 受験者数	8名	合格者数	8名	合格率	100%